

新潟大学 倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	長崎県諫早市における2010/11シーズンから2018/19シーズンまでに収集されたインフルエンザ発生調査データを用いた地域流行に関する疫学研究
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
<p>2010年10月1日から2019年12月31日までの間に、諫早市医師会のインフルエンザ発生調査に登録された、長崎県諫早市にお住まいで諫早市の医療機関を受診され、迅速検査でインフルエンザ陽性と判定された患者さんが対象です。</p> <p>過去の関連研究について：この調査データは、諫早市でのインフルエンザの流行状況を調べ、医療機関、保健所や学校でのインフルエンザの対策に役立てる目的で使われていました。今回の研究では、2010/11シーズンから2018/19シーズンまでのデータを用いて、新潟大学であらためて詳しく解析します。</p> <p>研究責任者は医歯保健学研究科・国際保健学・教授・齋藤玲子です。</p>	
③概要 諫早市医師会では、過去に、地域のインフルエンザ流行を知るために調査を行っていました。今回、新潟大学が行う研究では、そのときに集められた情報を使って、諫早市でA型とB型インフルエンザが、どの年代に多く、ワクチンやインフルエンザの薬を使った場合に流行をどの程度抑えることができたのか、学校、家庭、職場など流行しやすい条件はあったかについて調べます。	
<p>この研究のために、あらたに検査を受けていただいたり、受診していただいたり、書類を書きいただいたりすることはありません。すでにある情報だけを使います。研究に使う情報には、お名前、生年月日、住所、電話番号など、個人が分かる情報は含まれません。また、研究の結果を学会や論文で発表することがありますが、どなたの情報か分かる形で公表されることはありません。</p> <p>この研究にご自身の情報を使ってほしくない場合は、下の⑩のお問い合わせ先までご連絡ください。使わないでほしいと申し出ても、不利益を受けることはありません。</p>	
④申請番号	2026-0062
⑤研究の目的・意義	<p>この研究の目的は、諫早市でのインフルエンザ流行の特徴を詳しく調べることで、学校や家庭でのインフルエンザの予防対策に役立てられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの時期に流行したか ・どの年齢の方に多かったか ・A型とB型で違いがあったか ・ワクチン接種の有無や治療の有無で流行に変化があったか ・家庭や学校など、どのような条件でインフルエンザが流行しやすいかを過去のデータを使って調べます。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から2032年3月31日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその	諫早市医師会が保管しているインフルエンザの患者様情報のうち、この研究に必要なものだけを新潟大学で使います。情報は、個人が分からない形にしてから研究に用います。研究の結果は、学会や専門誌などで発

方法を含む。)	表することがありますが、個人が分かる情報が公表されることはありません。また、新潟大学には、お名前、生年月日、住所、電話番号などは渡されません。どの情報がどの人のものかを結びつける表も、新潟大学は持ちません。情報を使ってほしくないという申し出があった場合には、その方の情報は研究に使いません。
⑧利用または提供する情報の項目	この研究で使う情報は、主に次のものです。「年代」、「性別」、「発症日または受診日」、「インフルエンザの検査結果（A型・B型など）」、「抗インフルエンザ薬処方の有無」、「ワクチン接種歴」、「感染したと考えられる場所（学校、仕事、家庭など）」
⑨利用する者の範囲	新潟大学および以下の共同研究機関等で利用いたします。 新潟大学 新潟大学大学院医歯保健学研究科 国際保健学分野 教授 齋藤 玲子、特任教授 菖蒲川 由郷、助教 我妻 奎太 共同研究機関：ありません
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学大学院医歯保健学研究科 国際保健学分野 教授 齋藤 玲子
⑪お問い合わせ先	本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記にご連絡をお願いします。 所属：新潟大学大学院医歯保健学研究科 国際保健学分野 氏名：齋藤 玲子 Tel：025-227-2129 E-mail：jasmine@med.niigata-u.ac.jp